問　孫・子の為に持続可能な予算とは

答　SDGsのゴールを意識し取り組む

光風会
江田（えだ）　五六（いつむ）　議員

問　地球の温暖化対策として村の取り組みは。

答　家庭における省エネ・創エネ設備の設置補助などを通して、村民の脱炭素に向けた行動を後押しする。

問　公共施設の老朽化への対応は。

答　４月から「東海村公共施設等総合管理計画」に基づいて検討を進める。

外宿浄水場

問　外宿浄水場は供用開始から45年が経過し、老朽化による改修の対象と考える。ひたちなか市・那珂市は、全面改修工事を約100億かけて行う決定をした。私たち世代は、あと30年飲む予定の水である。孫や子は50～100年飲むことになる。命の元である飲料水の長期的視点に立った全面改修が急務だが、村の考えは。

答　躯体はあと25年は使えると考えている。施設の更新をいつするかは、給水人口も減っていくことから、県の広域化の動きも見据えて慎重に考えていく。

問　近い将来起きると思われる食糧危機。村の食料自給率アップに向けた取り組みは。

答　新たな地場産品の検討を行いながら試行栽培し、普及・啓発活動に努め、村内の食料自給率アップを図る。昨年はらっきょうの栽培に力を入れたが、今年度の取り組みは検討中である。

問　須和間霊園内に合葬式墓地が必要

答　将来の歳入・歳出を見極めて考える

問　少子高齢化や核家族化によるお墓の承継問題、墓地に関する不安の解消などを図るため須和間霊園内に合葬式墓地が必要と思うが、村の考えは。

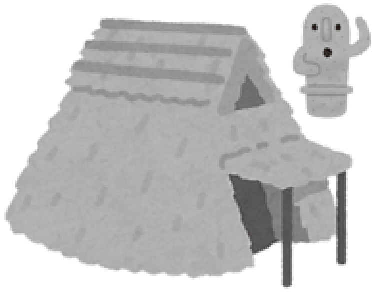
答　現時点では将来の歳入が厳しくなっていくものと思われる。歳出の抑制策など検討し、安定した運営が可能になるのを見極めた段階で具体的な計画に移行することが適当と考えている。

問　原始人について学ぶ講座が必要

答　1周年行事が終わったら検討する

問　今こそ、日本人の先祖がパラダイスを求め10万年前に南西アフリカを旅立って以来のルーツ・生活スタイルについて学ぶ講座や講演会等の開催が必要では。

答　小中学校では、日本人のルーツという学習は現状行っていない。私たちの祖先についての講義を聞く機会は非常に価値のある重要なものであることから、開館から1年が経過した段階で改めてどのような講座ができるかを検討する。



縄文時代に主に建てられた、竪穴式住居